

競泳競技 監督者会議資料（会議は実施しません）

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2022 年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり行う。
- (2) 競技は予選は原則 8 レーン、決勝は 10 レーンでタイムスケジュールどおりに実施する。バックストロークレジャージの使用に際して、レジャージの高さの調節は各選手が行う。使用しない場合は、折返監察員に申し出ること。
- (3) 決勝は、予選の結果上位 10 名が出場できる。ただし棄権者が出た時は、次点上位より順次出場権を与える。
- (4) 決勝進出について同記録で予定人員を超えた場合、スイムオフを行う。4×100m フリーリレー、4×100m メドレーリレーについては、予選と同メンバー・オーダーとする。ただし 4×200m フリーリレー、女子 800m・男子 1500m 自由形については、抽選で優先順位を決定する。（＊ランキング発表後 10 分以内に抽選場所に集合すること。15 分経過しても揃わない場合、片方でも引率責任者・監督または選手が居れば抽選を実施する。）
- (5) 補欠が同記録で複数いる場合、抽選を行う。補欠は 2 名とする。（＊同じ）
- (6) 招集は競技開始 20 分前から行う。招集所受付で水着の確認を行う。
- (7) 予選を棄権する場合は、所定の棄権届出用紙に記入し、当日予選競技開始 20 分前（1 日目は 11:40、2 日目は 9:40、3 日目は 9:10）までにリゾリレーションデスクに届け出ること。決勝を棄権することはできない。やむなく棄権する場合は、各県の委員長に申し出ること。決勝において正当な理由のない棄権者は全国大会への参加を認めない。
- (8) 800m 自由形競技の途中 400m において、また 1500m 自由形競技の途中 500m と 1000m でコールをする。
- (9) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (10) 競技成立後は、折返監察員の指示によりプール横から退水すること。ただし、リレー競技は自レーンから退水すること。
- (11) 予選においては、選手紹介・競技結果の通告は行わない。決勝においては選手紹介を行う。氏名・学校名の紹介を受けてから入場すること。競技結果は 3 位まで通告する。なお、標準記録突破者及びチームは予選・決勝にかかわらず通告する。
- (12) リレーオーダーは各競技開始の 1 時間前までに本部裏リゾリレーションデスクに提出すること。一度提出されたリレーオーダーは変更できない。（競技規則第 10 条 13）
- (13) 商標については、プログラムに掲載されている注意を熟読すること。
- (14) 各種目第 3 位までの入賞者は、表彰者待機所に待機すること。
- (15) 得点については各種目、1 位 8 点、2 位 7 点・・・8 位 1 点とし、リレー種目は、1 位 16 点、2 位 14 点・・・8 位 2 点とする。
同着の場合は、次の順位を欠位とし、得点は欠位のものを加え等分した得点をそれぞれに与える。
- (16) リレーの引継ぎの判定は機械優先とする。
- (17) 身体を濡らすために、水を浴びる場合は、設置した容器の水を用いて行うこと。
- (18) テーピング類、ピアス、ミサング等の装飾品は身につけないこと。
- (19) 飲み物については、招集所までとし、競技前のプールサイドには持ち込みは禁止とする。
- (20) 本大会は、上訴審判を設置する。
上訴する場合は、該当レース終了後 30 分以内に審査料 10,000 円を添えて、書面にて申し出る。
- (21) 競技に関する問合せは各県委員長を通して行うこと。
- (22) 悪天候（雷、豪雨、暴風）の場合はレースを中断する場合がある。また、レース時間の繰上げやタイムレース決勝になる場合もある。レースを中止した場合は各県総体予選の結果をもとに全国大会出場を決める。

2. 開始式、閉会式について

- (1) 開始式は実施しないが、昨年度優勝旗返還、連続表彰は実施する。
7 月 23 日（土）午前 9 時 30 分～（返還団は 9 時 15 分に招集所に集合）
 - ・各県の選手団・監督・その他関係者は、スタンドにて起立・整列する。（前席から順序良く）
 - ・返還団（昨年度優勝校 競泳男女各 2 名、飛込男女各 1 名）は招集所前に整列する。
 - ・プールサイドは専用の履き物、または素足とする。

- (2) 閉会式は実施しないが、総合優勝表彰は実施する。
 7月24日(日)競技終了後～
 開会式に準ずる。
 ・受賞団(競泳男女優勝校各3名、飛込男女優勝校各2名)

3. 施設利用について

- (1) プールサイドは専用の履き物、または素足とする。
 (2) 観覧席での食事は厳禁とする。
 (3) 選手席は県別に指定された観覧席とする。スタンド裏2階通路は、適宜交代しながらの食事および個人用ストレッチ場所とする。使用する場合は間隔を空け、食事においては向かい合わず黙食を徹底すること。なお、非常口前は使用しない。
 (4) 観覧席においては敷物・カード・メガホン・ひも等を使用した場所取りは禁止する。
 (5) シート・毛布等は競技終了後持ち帰らなくても良いが、掃除の邪魔にならないよう小さくたたんで隅に置いておくこと。
 (6) 観覧席最前列では、手すりに寄りかかったり、用具で叩いたりしないこと。
 (応援は、インターハイに準じて、拍手・手拍子・スティックバルーンのみとする。)
 (7) 選手・監督用の弁当の空箱は、他のゴミとは別に段ボール箱又は袋に入れて引き渡し場所へ置くこと。その他のゴミ類はすべて持ち帰ること。
 (8) 更衣室での場所取りは禁止とし、荷物等を置いたままにしないこと。
 (9) 車の駐車は駐車場とし、路上には絶対に駐停車しないこと。
(乗降のための停車も禁止)
 (10) 施設内の備品や用具などの破損については、本人又はチームで責任を取っていただきます。
 (11) プール職員・競技役員の指示に従うこと。
 (12) メインプールにおいてはビート板・プルブイ・フィン等のみの使用とし、サブプールについては飛び込み禁止・パドルの使用は禁止とし、チューブは端のレーンで使用する。
 (13) 貴重品の管理は各校で徹底すること。

4. 撮影について

- (1) 無観客開催のため撮影許可書の発行はしません。顧問の先生や競技役員、選手のみ撮影を認めます。また、映像配信については、各学校の責任の上、各学校関係者のみへの配信は認めますので、各学校で対応をお願いします。
 (2) 撮影場所は観覧席とします。お互い譲り合って迷惑のかからないようにする。
 ＊フラッシュ撮影は競技の妨げになるので禁止とする。

5. その他

- (1) 弁当の引き渡しは11:00から所定の場所で行う。
 (2) 全国大会の参加申し込みは、必ず大会期間中に所定(リゾリレーションデスク)の場所で行うこと。
 (3) 入場時、招集所、メインプール、サブプールにおいてはADカードの着用を義務付ける。
 (4) 何かありましたら、各県委員長に連絡を取ってください。
 (5) 社会情勢により、出場資格・競技運営・大会運営を変更することがあります。

<会場使用予定時間>

	7月22日(金)	7月23日(土)	7月24日(日)
開 門 時 間	9:00	7:30	7:30
競 技 開 始 時 間	12:00	10:00 (返還式9:30)	9:30
メインプール	9:00～11:45 競技終了～20分間	7:30～ 9:15 競技終了～20分間	7:30～ 9:15
サブプール	9:00～17:00	7:30～17:00	7:30～17:00